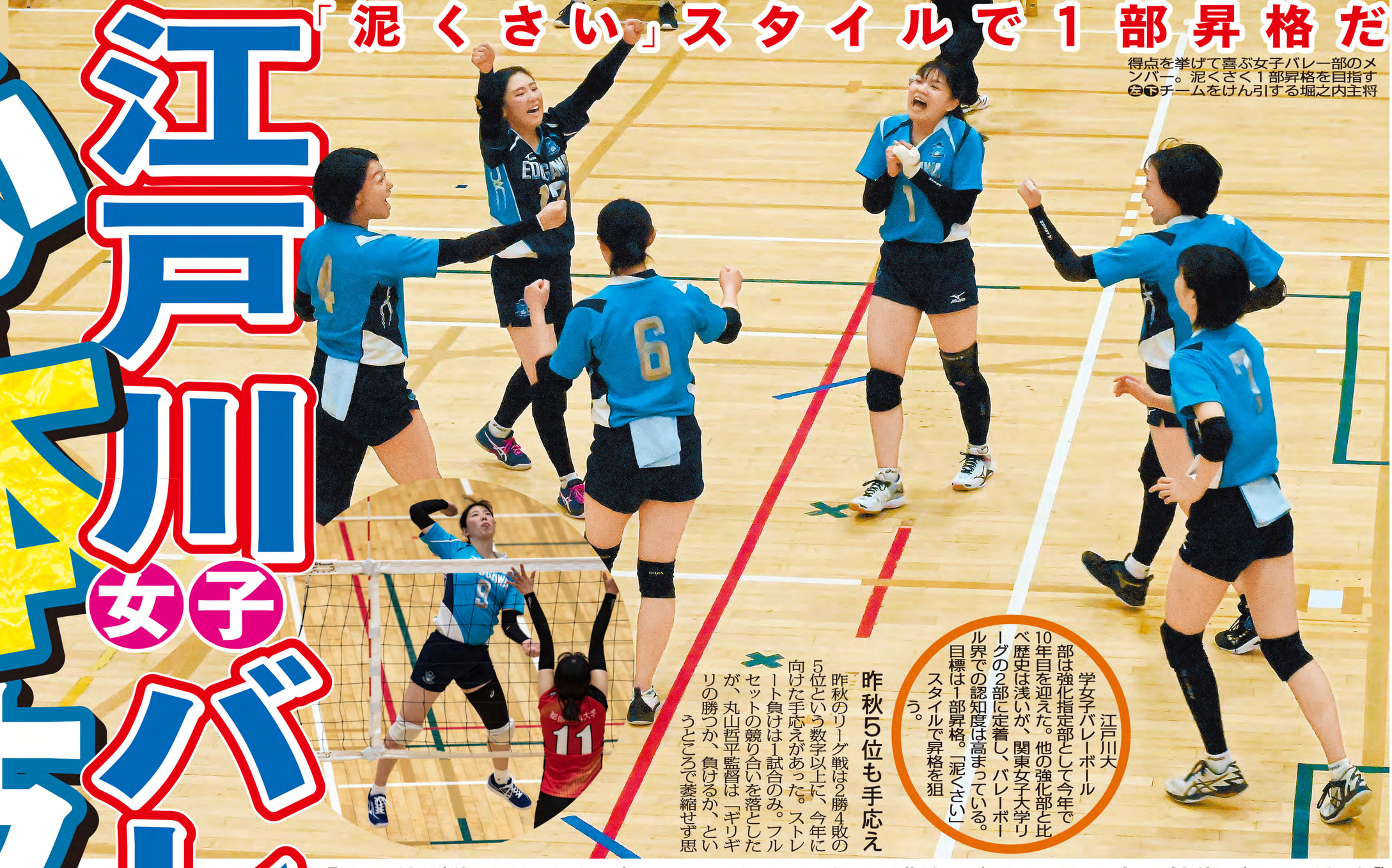
心技体!! 江戸川大女子バレーは

「泥くさい」スタイルで1部昇格だ



得点を挙げて喜ぶ女子バレー部のメンバー。泥くさく1部昇格を目指す
左下チームをけん引する堀之内主将

江戸川大学女子バレーボール部は強化指定部として今年で10年目を迎えた。他の強化部と比べ歴史は浅いが、関東女子大学リーグの2部に定着し、バレーボール界での認知度は高まっている。目標は1部昇格。「泥くさい」スタイルで昇格を狙う。

昨秋5位も手応え

昨秋のリーグ戦は2勝4敗の5位という数字以上に、今年に向けた手応えがあった。ストレート負けは1試合のみ。フルセットの競り合いを落としたが、丸山哲平監督は「ギリギリの勝つか、負けるか、というところで萎縮せず思い切りやることはできた。でも結果が伴わなかった。取り切れない理由を考えたら体づくり、体力を付けないといけないと思った」と語る。

心技体の順番を変えるくらい「体」を意識することで壁を破るのだという。「1部昇格を目標にしている。まずは2部を勝ち上がらなければいけない。その中で技術もそうだけどやはり心と体が先。〝心・技・体〟ではなく〝心・体・技〟でやれば強くなる。〝心〟がまずは大事で、次にベストなパフォーマンスを出せる〝体〟があり、その上に技術がある。その意識があると目標に近づいてくる」と体力強化を強調する。

身長差補う運動量

江戸川大学の平均身長は2部で高い方ではなく、大きなチームよりも動き回ることが求められる。また今年のチームには主将の堀之内香菜（こどもコミュニケーション4年、千葉・市立柏高）をはじめ、強打できる選手がそろい、体力強化の成果はコートですぐに発揮されそうだ。堀之内は「まずは2部優勝を目指し、全員で目標である1部昇格ができるように、やるならやると決めた事をしっかりと意識し、頑張ります」と決意を口にする。

最後まで粘り強く

丸山監督は江戸川大の持ち味を「小手先の技術でかわしていくというよりは、思い切ってジャンプして打ち切る。レシーブは最後まで粘り強くボールを追いかける。格好よくスマートにやるというイメージより、泥くさいがむしゃらさを継承していってきたい」と説明する。元気とガッツが魅力のチームが1部昇格に向け、がむしゃらに突き進む。

「心と体が先。ベストなパフォーマンスを出せる〝体〟があり、その上に技術がある」丸山監督

編集後記

▼夫倉麻以（1面担当）スポエド2022年度版の製作にあたり、1面に掲載する写真の撮影、監督・選手への取材、記事の執筆までの工程を一人で行うことが多く、また初めての経験であったため、かなり苦戦しましたが、無事に終えられてよかったです。今回取材をさせていただいた、鈴木教授と3選手をはじめとするフットボール部の皆さま、ありがとうございました。

▼鈴木陵我（2面担当）自分は全ての強化指定部の取材に同行しましたが、競技や性別、目標は違えども、それぞれの競技に対する愛は同じように熱く感じました。取材にご協力いただいた全ての方に感謝します。ありがとうございました。

▼河野高宏（3面担当）今回、自ら企画の発案、取材、記事の作成を行う経験ができて、とてもためになった。今回取材させていただいた男子バスケットボール部の皆さま、本当にありがとうございました。

▼天野克海（終面担当）文章を考えて書き、それを新聞の記事っぽく書き直すのが大変だった。しかしそれをプロの人に校正してもらい、ちゃんとした記事になったことはうれしかったし、満足感がありました。取材にご協力頂いたバレー部の皆さま、誠にありがとうございました。

癒し系!? 起爆剤!? 私はバレー部の〇〇です

ポジションはコートの中にとどまらない。バレーボール部の部員には、コートを離れても役割がある。それはプレー中の役割から想像できたり、できなかったり…。癒し系か、起爆剤か。部員に「私はバレー部の〇〇です」と役割を聞いてみた。

「パティシエ」高村美和（現代社会3年、埼玉・国際学院高）

練習が終わると周りに部員が集まってくる。人呼んでパティシエ。そう、嗅覚鋭いメンバーが、手製のお菓子に寄ってくるのだ。お菓子の評判はとても良く、特にプレーンやチェック柄のクッキーは大人気なのだとか。子供のころからお菓子作りが好きで、高校に入ってから本格的に作るようになった。チームメートのおかげ（？）で年々腕を上げている。

「小さな守護神」高橋更紗（こどもコミュニケーション2年、東京・藤村女子高）

リベロという守備のスペシャリストを務める。身長1㍍70以上が複数在籍するチームでは、目立つ1㍍50。そんな彼女の目標は「自分が入っていて安心してプレーしてもらえるような選手になること」。近年攻撃力を強化しているが、江戸川大の強みはやはり伝統の守備。チームのカギとなる今後の活躍が楽しみだ。

「笑顔100%」安田千夏（こどもコミュニケーション4年、東京・藤村女子高）

「笑顔が素敵」は部員の一致した評価。チャームポイントは笑顔の時に光るえくぼだ。「試合中に自分の笑顔を見てみんなもつられて笑顔になったらいいな」と話す。バレー部のキャッチフレーズである「教室でもコートでも100%」にピッタリな学生だ。

「新マネジャー」安江遥（経営社会2年、東京・佼成女子高）

1年時に先輩マネジャーから仕事の全てを引き継ぎ、いよいよ独り立ちの年。事務を全面的に引き受けながら、選手への目配りを欠かさない。選手がスランプに陥った時など「メンタル面でも支えていけるようになりたい」と話す。今日も忙しく動き回る。

☆紙面編集　天野　克海

スポニチ

スポニチ宅配版もどうぞ　または最寄りの毎日新聞販売店へ
申し込みはフリーダイヤル
読む人に一礼
0120・4612・10
24時間OK

ローソン　ファミリーマート　セブン-イレブン　ミニストップ、デイリーストア、セイコーマートでも購入できます

マルチコピー機の液晶画面をタッチ
プリントを選択
コンテンツサービスを選択
コンテンツプリントを選択
eプリントサービスを選択
地方紙・海外新聞・業界紙・専門紙を選択
スポーツ紙を選択
スポプリを選択
購入する商品を選択
商品内容を確認し購入を選択
商品内容を確認し次へ進むを選択
料金を投入しプリント開始を選択
料金を投入しプリントスタートを選択

◆コンビニでの購入方法◆